

(9)

令和4年(2022年)5月26日

木曜日



地元建材でクラスプレート

伊勢工業
高生ら製作

度会町の保育所に寄贈

【度会郡】度会町長原の長原保育所にこのほど、伊勢工業高校の生徒らが地元建材を使って製作した二十枚四方のクラスプレートなど十八枚が寄贈された。同校の奥山敦弘校長が以前、南伊勢高校（度会校舎）の准校長だったことが

ら、同町の保育所への寄贈を企画。生徒らもこれまで学んできた物づくりを通じて地域の困り事を解決し、お世話になった人たちに感謝の気持ちを伝える活動の一環として製作に取り組んだ。

度会町に木のぬくもりを感じてもらおうと、五クラスの一部屋や職員室などに付ける木製プレートを制作することになり、同町麻加江の世古林業が協力し、地元の建

築科三年の奥山俊美さん、西村裕さん、南泰誠さんらが出席。奥山さんが大西千浩所長にクラスプレートを手渡した。

中村町長は「園児たちも喜んでくれる。ありがたい」と話した。

製作には八人の生徒が携わり、機械科は金具の加工、建築科はプレートのデザイン、電気科はレーザーによるプレートへの刻印を担当するなど、それぞれの得意分野を生かして完成させた。今後は、町内の幼稚園保育所や中之郷保育所にも同様の寄贈を行う予定。同保育所であった園長には、中村忠彦町長や機械科三年の楠木剛之さん、建